
無題

のく

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題

【Nコード】

N7948P

【作者名】

のく

【あらすじ】

とある場所で出会った二人のGL小説

(前書き)

G
L

私は純粹だ、
ってそう思ってた。

だから、私は男バスの先輩に恋してたし、その恋を楽しんだりもした。

それが一変したのは……

【あの日】
からだつた。

- Yuki side -

「雪ーッ！」

「せ、先輩！？」

男バスの先輩、黒川耕輔。

学校一バスケが上手で、キャプテン候補。

1年生の私からしたら、2年生の先輩は憧れ。

先輩に一目ぼれして、私は男バスのマナージャーになった。

…誰だろ？

この可愛い子。

「えッと…大丈夫？ けがしてない？」

「だ、だ、大丈夫ですっ！！ す、すみませんでしたっ」

「ちょっと待って！！」

靴下から微妙に血が滲んでる。

「え、え、え、えっ…」

「怪我してる、手当するからおいで」

「あ、は、は、は、はい。。。 お構いなく！！」

「駄目！ 怪我させちゃったんだもん」

黙って頷いてついてくるその子は多分1年生だった。

「貴方、何年生？」

「い、い、い、いち…なんです」

「ははッ、私も1年生だよ。 そんなに緊張しなくても大丈夫！！ 仲良くしようねっ」

「は、は、は、はい！！」

「雪ーッ」

「あ、先輩!!」

「どうしたんだ？部活になかなか来ないから探したぞ?」

「あ、ありがとうございます」ちょっと怪我させちゃったみたいで
救護室に…」

「あ？そうなの?」

「あ、はい」

「大丈夫？君、名前は?」

「え、え、え、え、えっとお…さ、さ、桜ですっ」

「桜ちゃんって言っただ。私、雪。宜しくね」

「俺は耕輔。黒川耕輔だ。男バスキャプテン候補っ!!」

「よ、よ、よ、よろしくお、おねがい、します・・・」

目を潤ませてこっちを見上げる桜ちゃんはとても可愛かった。

|||||

- Sakura side -

雪…さんは優しい人。

誰も相手にしてくれなかった…今までは。

雪さんは…桜の目を見て喋ってくれた。

雪…さんは優しい人。

|| || || || || || || || || || || || || || || ||

- Y u k i s i d e -

「今日からマネージャーと一緒にやることになりました桜です!!」

「よ、よ、よ、よろしくおねが、いします」

「桜、そんなに緊張しなくても大丈夫だよ?」

「ゆ、きさん」

「呼びすてでいいの!!」

「ゆ、き・・・?」

「そうだよ」

「ゆき、は、その…耕輔先輩のこと、す、きなんですか?」

「っえ!??」

「そう、見えた…桜の目には、そう、見えた・・・」

- S a k u r a s i d e -

桜は悪い子です。
イケナイ子です。

雪を好きになった、駄目な子です。

「雪」

「さ、桜…？」

「好き」

言ってしまいました。
抑えられなかった。

桜、悪い子、駄目な子。

「それって、…、どういうこと？」

「好きです、雪」

「私も好きだよ…？」

「そ、そういう意味じゃない」

「…！？」

「ご、ご、ごめんなさい」

本当の桜を見せてしまいました。
桜、バカな子。

E
N
D

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7948p/>

無題

2011年1月4日01時39分発行